

2022年度 一般選抜 学力検査

世界史 B

解答番号 ~

FW4

世

問2 下線部(a)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選
びなさい。解答番号は、**2**。

- ① 五経の一つである『孟子』は孟子の言行を記したものである。
- ② 五経の一つである『論語』は孔子とその弟子の言行を記したものである。
- ③ 五経の一つである『詩経』は周の祭祀の歌や民謡を集めたものである。
- ④ 五経の一つである『楚辞』は楚の韻文を集めたものである。

問3 下線部(b)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選
びなさい。解答番号は、**3**。

- ① 帝王の事績を年ごとに記す形式で一貫して叙述されている。
- ② 帝王の事績については年ごとに記す本紀と臣下の人物史を記す列伝の二つの部
分から成り立っている。
- ③ 帝王の事績について年ごとに記す本紀と臣下の事績を記す列伝に、年表、書、
世家の部分が加わっている。
- ④ 帝王の事績について年ごとに記す本紀と臣下の事績を記す列伝に、年表、志が
加わっている。

問4 下線部(c)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選
びなさい。解答番号は、**4**。

- ① 優秀な人材を採用するために郷挙里選を制定した。
- ② 藩部を支配するために理藩院を設置した。
- ③ 経済を安定させるために宝鈔と呼ばれる紙幣を発行した。
- ④ 海上交通を制限するために海禁を行った。
- ⑤ 村落整備を行うために里甲制を敷いた。

問5 下線部(d)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選
びなさい。解答番号は、**5**。

- ① 皇帝の補佐を行う内閣大学士として六部を統括した。
- ② 五経博士の設置を武帝に進言した。
- ③ 能書家としても知られ、「蘭亭序」を書いた。
- ④ 中国各地の実地調査を行い、『水経注』を著した。
- ⑤ 儒学の五経の注釈書として『五経正義』を著した。

問6 下線部(e)について、[1]後漢の時代に起こった儒派官僚に対する弾圧事件はどれか。[2]この時代、経書（五経）理解のための注釈を加える訓詁学が始まったが、これを大成した後漢の儒学者は誰か。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は、・。

[1] ① 土木の変 ② 焚書・坑儒 ③ 文字の獄

④ 党錮の禁 ⑤ 武韋の禍

[2] ① 李斯 ② 鄭玄 ③ 蔡倫

④ 寇謙之 ⑤ 仏図澄

問7 に当てはまる人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

① 鄒衍 ② 陳寿 ③ 商鞅

④ 班固 ⑤ 甘英

問8 下線部(f)について、[1]これを著したのは誰か。[2]この歴史書の説明として正しいものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、

・。

[1] ① 周敦頤 ② 欧陽脩 ③ 陸九淵

④ 司馬光 ⑤ 王重陽

[2] ① 夏の始まりから宋朝建国までを編年体によって記述している。

② 夏の始まりから宋朝建国までを紀伝体によって記述している。

③ 漢の始まりから宋朝建国までを編年体によって記述している。

④ 戦国時代の始まりから唐五代末までを編年体によって記述している。

⑤ 戦国時代の始まりから唐五代末までを紀伝体によって記述している。

問9 下線部(g)について、朱子学を体系化した朱熹の思想に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、11。

- ① 人間が本来持っている「心」そのものが人間の「理」に一致するとした「心即理」を説いた。
- ② 人間に本来備わっている「良知」を十分に発揮されることで社会が正しく秩序づけられるとする「致良知」を説いた。
- ③ 庶民にも本来備わっている「良知」と「行動」の一体化が重要であるとする「知行合一」を説いた。
- ④ 世界は万物の構成要素である「気」とその法則性である「理」の二つからなるとする「理気二元論」を説いた。

問10 下線部(h)について、この書物で強調された大義名分論に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、12。

- ① 君臣や父子の道徳を重視し、臣下として守るべき節操と本分を明らかにした。
- ② 人の本性は悪であり、その矯正のために「礼」が必要であるとした。
- ③ 万物に備わる「道」を重視し、君主は「無為の治」を目指すべきであるとした。
- ④ 徳ではなく、成文法による法治主義が重要であるとした。

【2】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

エジプトを除いてもっとも古いアフリカ人の国として知られているのは、(a) クシュ王国である。この王国は 4 世紀に (b) エチオピアの一王国によって滅ぼされた。

西アフリカでは 7 世紀頃から (c) ガーナ王国がムスリム商人との交易で栄えた。その後、(d) 13 世紀から 15 世紀にかけてはマリ王国が、15 世紀から 16 世紀にかけてはソンガイ王国が存在した。いずれもイスラーム教徒が支配階級であったことで知られる。

アフリカ東岸では、10 世紀以降ムスリム商人の活動が活発化したことによって、いくつもの海港都市がインド洋交易の拠点として発展した。(e) マリンディ、(f) モンバサ、キルワなどがその代表的な海港都市である。この海岸地域では、**A** が共通語として用いられるようになった。

問 1 下線部 (a) について、[1] クシュ王国は前 8 世紀に一時エジプトの王朝を滅ぼすまでになったが、前 667 年にはメソポタミアの王国の侵入を受けてナイル川上流域に後退した。ニネヴェを首都とし、一時は全オリエントを支配したメソポタミアのこの王国はどれか。[2] ナイル川流域の現スーダン領にあった都市で、前 670 年頃から後 350 年頃まで続いた後期クシュ王国の首都がおかれ、商業と製鉄で栄えた都市はどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**13**・**14**。

[1] ① リディア ② 新バビロニア ③ アッシリア

④ メディア ⑤ ヒッタイト

13

[2] ① メンフィス ② テーベ ③ カデシュ

④ ギザ ⑤ メロエ

14

問2 下線部(b)について、[1]紀元前後頃に、アラビア半島から移住してきたセム語系の民族がエチオピア高原北部に建て、インド洋交易などによって3世紀～6世紀に繁栄したこの王国はどれか。[2]エジプトのコプト教会や、シリア、アルメニアなどの教会、さらにはエチオピアの教会などに受け入れられたキリスト教に関する記述として正しいものはどれか。[3]後年、帝国主義期の1895年～1896年にかけてエチオピアに侵入を試みたが、アドワで大敗するなどして失敗に終わったヨーロッパの国はどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、15～17。

- [1] ① ミタンニ王国 ② アクスム王国 ③ アワド王国
 ④ ニザーム王国

15

- [2] ① アリウス派の三位一体説を信奉するキリスト教であった。
 ② イエスの神性と人性は分離しているとするアタナシウス派の説を信奉するキリスト教であった。
 ③ イエスに人性のみを認め神性を認めないカトリ派の説を信奉するキリスト教であった。
 ④ イエスに神性のみを認める単性論を信奉するキリスト教であった。

16

- [3] ① フランス ② イタリア ③ ドイツ
 ④ ベルギー

17

問3 下線部(c)について、[1]ガーナ王国の交易に関する記述として正しいものはどれか。[2]ガーナ王国は11世紀後半、イスラーム系の王朝の攻撃を受けて衰退した。モロッコを中心にベルベル人が建てたこの王朝はどれか。[3]「ガーナ」の名称は20世紀に復活する。1960年のいわゆる「アフリカの年」に、イギリス連邦内の最初の黒人国家としてガーナの独立を導いた指導者は誰か。[1]は①～⑥の中から、[2]・[3]は①～⑤の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、**18**～**20**。

[1] ① サハラ砂漠産の金が、ニジェール川流域産のトウガラシなどの香辛料と交換された。

② サハラ砂漠産の銀が、ニジェール川流域産の岩塩と交換された。

③ サハラ砂漠産の銀が、ニジェール川流域産のトウモロコシと交換された。

④ サハラ砂漠産の岩塩が、ニジェール川流域産の金と交換された。

⑤ サハラ砂漠産の金が、ニジェール川流域産のトウモロコシと交換された。

⑥ サハラ砂漠産の岩塩が、ニジェール川流域産のトウガラシなどの香辛料と交換された。 **18**

[2] ① ムラービト朝 ② マムルーク朝 ③ カラハン朝

④ ナスル朝 ⑤ トウグルク朝 **19**

[3] ① ルムンバ ② エンクルマ ③ マンデラ

④ アラファト ⑤ フィルドゥシー **20**

問4 下線部(d)について、[1]マリ王国やソンガイ王国の時代、サハラ縦断交易で栄えたニジェール川流域の都市はどれか。[2]マリ王国の全盛期の国王は誰か。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**・**22**。

[1] ① モガディシュ ② セウタ ③ マラケシュ

④ トンブクトゥ **21**

[2] ① ニザーム＝アルムルク ② ウマル＝ハイヤーム

③ マンサ＝ムーサ ④ ハイレ＝セラシエ **22**

【3】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

先住民のキリスト教化は、(a) アメリカ大陸の「発見」とその軍事制圧による植民地支配が確立しつつある 16 世紀後半以降、スペインやポルトガルによる公式事業の一つとして展開した。両国にとって、福音宣教による先住民の魂の救済という名目は、この大陸の征服と植民地化を正当化するものであった。同時にカトリック教会側も、その世俗化や腐敗に対する不満から起こった (b) 宗教改革 の渦中にあり、植民地の住民への布教に活路を見出した。こうして国家と教会の利害が一致し、先住民のキリスト教化は公式の事業として位置付けられることになったのである。その際先住民への宣教に直接従事する組織として、フランチェスコ会や (c) ドミニコ会、聖アウグスティヌス会、(d) イエズス会 などの修道会が各地へと派遣された。とりわけ 17 世紀以降、植民地行政の中心から遠く離れた地へと征服の前線を拡大するにあたり、これら修道会は布教のみならず各地方における世俗的な役割も任されるようになった。この体制のことをミッション、スペイン語では「Misión」と呼ぶ。

(金子亜美『宣教と改宗－南米先住民とイエズス会の交流史』による)

問1 下線部(a)について、[1]アメリカ大陸に上陸したコロンブスに関する記述として正しいものはどれか。[2]1513年パナマ地峡を横断して太平洋に到達したのは誰か。[3]コルテスは1521年、アステカ王国を滅ぼした。このアステカ王国の首都はどれか。[4]1503年にスペインが王令で定めたラテンアメリカにおける植民地経営形態を指す言葉はどれか。[1]は①～④の中から、[2]～[4]は①～⑤の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、**26**～**29**。

[1] ① 天文学者ケプラーの地球球体説に従って大西洋を西へ向かった。

② スペイン女王イサベルの援助を得て船団を組織して出発した。

③ ポルトガルのリスボン出身の航海者であった。

④ コロンブスのアメリカ到達航海は1回であった。

26

[2] ① マゼラン ② バルトロメウ=ディアス ③ デュプレクス

④ バルボア ⑤ カボット

27

[3] ① クスコ ② テノチティラン ③ リマ

④ マチュ=ピチュ ⑤ ポトシ

28

[4] ① アシエンダ制 ② プロノイア制 ③ エンコミエンダ制

④ テマ制 ⑤ マンサブダール制

29

問2 下線部(b)について、[1]1517年に「九十五カ条の論題」を提起した人物は誰か。

[2]「九十五カ条の論題」が出された背景には、巨大な聖堂の建設などによるカトリック教会の財政危機があった。ブラマンテやミケランジェロなどが設計・建築にかかわったキリスト教世界最大の聖堂はどれか。[3]神聖ローマ皇帝の弾圧に対して1530年シュマルカルデン同盟が結ばれたが、弾圧を行った皇帝は誰か。[4]宗教改革に対して、カトリック教会は対抗宗教改革を打ち出した。その一環として1545年から開かれた公会議はどれか。[5]宗教改革をめぐる争いに関して1555年に帝国議会で決定されたアウクスブルクの和議に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**30**～**34**。

- [1] ① ウィクリフ ② カルヴァン ③ マルティン＝ルター
④ フス ⑤ ミュンツァー **30**
- [2] ① サンタ＝マリア大聖堂 ② ノートルダム大聖堂
③ アミアン大聖堂 ④ シャルトル大聖堂
⑤ サン＝ピエトロ大聖堂 **31**
- [3] ① カール5世 ② レオ10世 ③ グレゴリウス7世
④ オットー1世 ⑤ ハインリヒ4世 **32**
- [4] ① エフェソス公会議 ② カルケドン公会議 ③ トリエント公会議
④ コンスタンティノーブル公会議 ⑤ ニケーア公会議 **33**

- [5] ① 諸侯に対してはカトリック派かカルヴァン派かの選択権が認められたが、個人の信仰の自由はなく、ルター派も認められなかった。
- ② 諸侯に対してはカトリック派かルター派かの選択権が認められたが、個人の信仰の自由はなくカルヴァン派も認められなかった。
- ③ 諸侯は、カトリック派、カルヴァン派、ルター派いずれの選択も認められたが、個人の信仰の自由はなく、領主の選んだ派を信仰しなければならなかった。
- ④ 諸侯は、カトリック派、カルヴァン派、ルター派いずれの選択も認められ、また個人も領主の選択に関わりなく、信仰を選ぶことが認められた。
- ⑤ 諸侯は、カトリック派、カルヴァン派、ルター派いずれの選択も認められたが、個人は、領主がカトリック派の場合はカトリックの信仰しか認められず、領主がルター派あるいはカルヴァン派の場合は領主の信仰に関わりなくルター派とカルヴァン派いずれも選ぶことができた。 34

問3 下線部(c)について、スペイン人支配下の先住民インディオの悲惨な状況に関する報告書『インディアスの破壊に関する簡潔な報告』を著したドミニコ修道会の聖職者は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、35。

- ① セルバンテス ② フェルビースト ③ アダム＝シャルル
- ④ フランシスコ＝ザビエル ⑤ ラス＝カサス

問4 下線部(d)について、[1]イエズス会の創設者は誰か。[2]アジアでの布教に尽力したマテオ=リッチに関する記述として正しいものはどれか。[3]イエズス会はヨーロッパ各地に学院を設立し、教育に当たった。バロック文化の時期に、教育の一環として学生に上演させたラテン語劇はヨーロッパの演劇に大きな影響を与え、学院の出身者で演劇に携わる者もでた。そうした一人で、『ル=シッド』などの作品で知られるフランス古典主義を代表する悲劇作家は誰か。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**36**～**38**。

- [1] ① アルクイン ② エル=グレコ ③ イグナティウス=ロヨラ
 ④ ノックス ⑤ ベネディクトゥス

36

- [2] ① 日本でのキリスト教普及の基礎を築いた。
 ② 世界地図の「坤輿万国全図」を作製した。
 ③ 教皇インノケンティウス4世の命で布教のためモンゴルを訪れた。
 ④ フビライにつかえ、のちに『世界の記述』を記した。
 ⑤ 教皇の特使として中国を訪れ大都の初代大司教に任命された。

37

- [3] ① ラシーヌ ② ワトー ③ ブーシェ
 ④ コルネイユ ⑤ モリエール

38

【4】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。(配点 25 点)

第二次世界大戦直後に欧州で本格化したソ連とアメリカの対立、つまり、冷戦とは、米ソ双方にとっての死活的な国益の衝突であり、譲れないイデオロギー闘争であり、経済力・科学技術力・社会の活力などを競い合う総力戦の舞台でもあった。

1947年、アメリカ側による冷戦の宣戦布告とも言うべきトルーマン＝ドクトリンは、相容れない「二つの生活様式」のいずれを世界が選ぶかが問題だとした。当時、共産主義の影は西欧諸国にまで迫っていたのである。さらに^(a)アメリカは、マーシャル＝プランにより戦争で疲弊したヨーロッパの復興パッケージを提示した。東欧諸国はスターリン率いるソ連の後押しを受けて次々に社会主義化してゆき、冷戦の東側陣営ができていった。アジアでは中国などが社会主義化した。しかし、^(b)社会主義国すべてが一枚岩では必ずしもなかった。

^(c)1950年代半ば以降、米ソの対立が緩和し、平和共存の兆しがあらわれてきた。アジアでは朝鮮戦争や^(d)インドシナ戦争が休戦を迎え、日本はソ連と国交を回復した。しかし、他方では、1956年、共産圏からの離脱を希求した **A** での大衆行動に西側陣営から援軍が来ることはなく、ソ連の軍事介入で潰され、**A** の首相ナジ＝イムレは処刑された。

1957年、ソ連による人工衛星スプートニク1号の打ち上げが米ソ関係を凍りつかせた。人工衛星の技術は長距離ミサイルに援用できるものだったのである。宇宙時代の到来は、冷戦を大気圏外の空間にまで広げることになった。地上でも、^(e)米ソの関係を緊張させる事件が1960年代の前半に頻発した。さらに^(f)ベトナムへのアメリカの軍事介入は国際的な批判を浴びた。それでも、米ソ両国の首脳はたがいの勢力圏の現状維持を概ね認め合っていた。自国に危険が及ぶ可能性をなくすことに懸命だったのである。その一つのかたちが、^(g)核軍縮をめぐるいくつかの合意であった。米ソの協調は1970年代、デタント(緊張緩和)として花開いた。ただし、これで米ソ両国によるお互いへの不信感が拭い去られた訳ではなかった。

1970年代後半、米ソのデタントには暗雲が立ちこめた。1979年、ソ連は **B** に侵攻し、親ソ派の政権を樹立した。これにアメリカが強く反発し、「第2次冷戦」の始まりとも言われた。アメリカのレーガン政権は「強いアメリカ」復活を唱えて軍拡を推し進め、ソ連を「悪の帝国」と糾弾した。

1985年に登場した^(h)ソ連のゴルバチョフ書記長は対米和解路線をとった。レーガン大統領もこれに呼応した。米ソが再接近を求め合った最大の動機は、双方が冷戦の重荷に耐えられなくなったことにある。⁽ⁱ⁾ソ連の支配が揺らいだ東欧では各国があいついで民主化への道をたどり、ソ連の影響圏から離脱していくことで、欧州分断を過去のものにした。1989年、**C**での首脳会談に臨んだゴルバチョフとブッシュ米大統領は、世界に向けて冷戦の終結を宣言した。

問1 下線部(a)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**39**。

- ① マーシャルは当時アメリカの財務長官であり、後にノーベル経済学賞を受賞した。
- ② ポーランドやハンガリーといった主にヨーロッパで経済的に遅れていた国がマーシャル=プランを受け入れた。
- ③ マーシャル=プランは、ヨーロッパ全体の経済復興計画として提示されたが、ソ連・東欧は受け入れを拒否した。
- ④ 国際復興開発銀行（IBRD）がマーシャル=プランを受け入れるために設立された。

問2 下線部(b)について、1940年代末から1950年代前半にかけての時期に、必ずしもソ連に同調しない動きがあった。これに関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**40**。

- ① セルビアでは、首相のドプチェクはソ連型の農業集団化政策を拒否し、さらに複数政党制も許容しようとしたが、ソ連軍に逮捕され、処刑された。
- ② ポーランドでは、労組指導者ピウスツキが社会主義化に抵抗するための組織「連帯」を組織したが、弾圧され、「連帯」は解体された。
- ③ クロアチアでは、大統領ゴムウカ自らが「プラハの春」と呼ばれる自由化を進めようとしたが、ソ連軍などの介入によって圧殺された。
- ④ ユーゴスラヴィアの指導者ティトーは、ソ連から距離を置き独自にブルガリアとの同盟交渉を行ったため、コミンフォルムから除名された。

問7 下線部(f)について、1965年、アメリカは前年のトンキン湾事件を口実に北ベトナム爆撃(北爆)を開始した。このときのアメリカ大統領は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**45**。

- ① カーター ② オバマ ③ クリントン
④ ジョンソン ⑤ フォード

問8 下線部(g)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**46**。

- ① 1963年、部分的核実験禁止条約に米ソ両国だけでなく、イギリス、フランス、中国も参加した。
② 1968年に調印された核拡散防止条約は、当時の段階で核兵器を保有していたアメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中国、インド、パキスタン以外の核兵器の保有を禁止した。
③ 1969年から2次にわたって米ソ間で戦略核兵器をめぐる軍縮交渉が行われた。
④ フルシチョフとニクソンとの間で、1973年、核戦争防止協定が締結された。

問9 **B** に当てはまる、2001年には今度はアメリカ軍が攻撃することになった国はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**47**。

- ① イラン ② イラク ③ シリア
④ アフガニスタン ⑤ パキスタン

問10 下線部(h)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**48**。

- ① グラスノスチと呼ばれる情報公開による言論の自由化改革を行った。
② 行き詰まった計画経済から市場経済に移行させる経済改革に舵^{かじ}を切った。
③ 大統領制を導入したが、1991年6月のソ連大統領選挙でエリツィンに敗れた。
④ 東欧諸国の自立・民主化を容認した結果、ソ連国内でもバルト3国が独立を宣言した。
⑤ 「新思考外交」を唱え、軍縮や中国との和解などを進めた。

問11 下線部(i)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**49**。

- ① 冷戦終結により、東側陣営の軍事機構だったワルシャワ条約機構が解体し、加盟国はすべて北大西洋条約機構に合流した。
- ② 1990年8月、東西ドイツが統一され、ホネカーが統一ドイツ初代大統領に就任した。
- ③ ユーゴスラヴィアでは1991年にセルビアが独立宣言を行ったことをきっかけに内戦が勃発し、ユーゴスラヴィア連邦は解体された。
- ④ ルーマニアでは、独裁者チャウシェスクの政権が崩壊し、チャウシェスクは妻と共に処刑された。

問12 **C** に当てはまる、米ソ首脳会談が行われた場所はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**50**。

- ① レイキャビク ② ニューヨーク ③ マルタ
- ④ ヤルタ ⑤ ボン